

サステナブル・コミュニティ研究会 NEWS LETTER Vol.2

マンション業界初の試み！ 「マンション・コミュニティ実例共有セミナー」実施

マンション・コミュニティのノウハウや他マンション事例を紹介
三井不動産グループ管理の関東エリアの管理組合を対象に実施

サステナブル・コミュニティ研究会は（代表：三井不動産レジデンシャル株式会社 ※詳細は後述）3月15日（土）に都内にて「第1回マンション・コミュニティ事例共有セミナー」を実施しました。（2014年2月13日発行 NEWS LETTER 参照。）このセミナーは、三井不動産グループにて管理を行っている関東エリアのマンション約1,600棟の管理組合を対象として2014年1月に実施した「第1回マンション・コミュニティに関する調査」の結果を受けて、各マンション管理組合から、「他のマンションでの取り組みについて知りたい」、「マンション内のコミュニティづくりを教えてほしい」という要望の声が多く寄せられたため、それを受ける形として、セミナー形式にて実施しました。



コミュニティツール「9つトビラ」を使用して自己紹介

セミナーには戸数や規模、築年数が異なる首都圏のマンション19棟から22名が参加し、2部構成で行われました。

前半ではコミュニティに関する基礎知識を学ぶ講義やサステナブル・コミュニティ研究会が独自開発したコミュニティツール「9つのトビラ」

を実際に体験してもらい、後半では規模の異なるそれぞれのマンションでのコミュニティ活性化事例紹介や意見交換会を行ないました。

このセミナーはマンション分譲会社、マンション管理会社、管理組合が一緒になり、マンションの「コミュニティ」という“ソフト”をテーマとして事例や意見を共有する場を創るという、マンション業界初の試みとなりました。

サステナブル・コミュニティ研究会では今回のセミナーでの成果や反省点を通じ、継続的なセミナーの開催を目指し、より一層、コミュニティづくりの支援ができるように、引き続き研究を重ね、新しい施策への挑戦や情報発信を行ってまいります。



マンション規模別グループの様子

【マンション業界初の試み！】

- マンション分譲会社、マンション管理会社、管理組合が一緒になって、事例や意見を共有するセミナーを実施。
- 三井不動産グループにて管理を行っている、約1,600棟のマンション管理組合に募集告知。
- マンションの住居者同士が繋がる「コミュニティ」という“ソフト”をテーマに事例紹介を行う、参加型セミナー・ワークショップを実施。

ファシリテータ（進行役）コメント

初めての試みということで、ご参加の皆さんのニーズにお応えするための内容づくりに腐心した面がありましたが、とくに規模別のグループでの時間が大いに盛り上がり、同じような立場の方同士の意見共有のニーズが高かったことが伺えました。皆さんの話題は「転賃の増加・賃貸居住者との関係」「高齢化・世代間のギャップ解消」「災害時の備え、居住者名簿について」「自治会と管理組合の関係について」など多岐にわたっていたなか「似たような状況の人の実体験が一番参考になる。情報共有をもっとしたい」「またこのような機会があったらぜひ参加したい」という積極的なご意見をいただくことができました。

有識者コメント

明海大学 不動産学部 教授 齊藤広子氏

かつてのように、分譲会社は引き渡しまでで役割を終えるということではなく、管理組合や管理会社と協力し合って、マンション・コミュニティの充実を図ることができれば、居住者が安心でき、かつクオリティ・オブ・ライフの高い暮らしを実現することに繋がっていくと考えられます。今回、マンション管理会社のみならず、分譲会社も関わられていることは大変意義が大きいと思います。そして、マンションのコミュニティ育成の方法は一つではありません。どんな方法がありえるのか。多くの事例紹介は参加した方にまさに有益であったと思います。

サステナブル・コミュニティ研究会 概要

三井不動産レジデンシャルが中心となって立ち上げたプロジェクトであり、アドバイザー・ボード委員（有識者）や各種外部団体と連携しながら活動中。「集合住宅におけるサステナブル・コミュニティ指標」の策定やコミュニティ活動の支援施策として「Park HOMES Greeting」等を進めている。

サステナブル・コミュニティ研究会ホームページ <http://sustainable-community.jp>